

大守秀行

市議会だより

2021年7月吉日 No.27

発行責任者：大守秀行
7710-8550 倉敷市玉島乙島7471番地
TEL: (086) 525-2226
自宅：倉敷市中島1835-20



「ワクチン接種の状況」

市内約180の医療機関での個別接種とくらしき健康福祉プラザでの集団接種が行われており、6月20日からは、川崎学園（日曜日開設）でも集団接種が開始され、また、水島コンビナート企業などでは職域接種が展開されている。官民や医師会などのご協力のもと、接種環境が確実に強化されつつある。（4ページ目に6月25日時点の接種予約スケジュールを掲載しています。）

「質問の背景」

前例のない大規模なワクチン接種のオペレーションが本格化しているが、誰もが初めての経験のため、ワクチンの予約や接種を進める中で、課題が見えてきた。

その課題の多くは、高齢者の後に控えている優先・一般のワクチン接種にも共通する課題であるため、是が非でも、今の時点で課題解決を行い、ワクチン接種を可能な限り短期間で、一人でも多くの市民に接種し、市民の安全・安心な環境を整え、落ち込んでいる市内の観光業や飲食業のV字回復を実現する必要性がある。

Question 1 ワクチン接種について

1.「高齢者ワクチン接種」について

Q1：高齢者のワクチン接種の対象は13万8千人であるが、65歳以上と75歳以上それぞれの対象人数は。

A1：75歳以上の方が約7万5千人、65歳以上の方が約6万3千人。

Q2：5月17日からの接種実績の推移は。

A2：5月17日の接種開始以降、1週目(5/17～5/23)が約1万2千回、2週目(5/24～5/30)が約1万6千回、3週目(5/31～6/6)が約2.2万回、第5週(6/14～)における各医療機関の予約数は、約3万回程度で、接種を希望する高齢者の方の全員への接種が、7月末までに完了すると見込んでいる。

Q3：75歳以上の方を優先接種する事になった背景は。

A3：市内の感染状況から、他の年代と比べて重症化する割合が高い75歳以上の高齢者の方を優先とさせていただいた。

2.「高齢者の接種券発送時の対応」について

Q1：高齢者の方は接種券が届いても接種できる病院が分からず混乱した。本市では、高齢者への接種券発送から約3週間遅れて接種医療機関の一覧表を郵送された。追加発送ため、発送の2度手間と2重の送料が掛かっており、当初から接種券に医療機関の一覧表を同封しなかったのか。

A1：①国からワクチンが十分に供給されると示され、実施医療機関の調整がついた時点(4/26)で一覧表を作成し、ホームページに掲載した。②パソコン等を利用されない方のために、一覧表を対象者へ郵送したが、対象者が多かったことから印刷等に時間を要した。

3.「一般の方への接種券発送」について

Q1：高齢者接種券の経験から、優先・一般のワクチン接種では、接種券と同時に接種できる医療機関の一覧表を同封して頂きたいが、優先・一般接種では、どのような対応になるのか。

A1:①64歳以下の方については、高齢者の方に比べてスマホやパソコンをご利用いただける方の割合が高いと考えている。②このため、接種券と同封するチラシのQRコードを読み取って頂き、実施医療機関を確認いただく予定。③スマホやパソコンのご利用が困難な方については、専用コールセンターでのご案内に加え、本庁、各支所、保健所や公民館の窓口で、最新の一覧表をお渡ししようと考えている。

4.「一般ワクチン接種」について

Q1:一般ワクチン接種の予定は、働く方のために、土日接種の拡充を求める。

A1:①64歳から12歳の方は約28万人で、6月下旬から7月上旬にかけて、接種券を郵送する。②接種の順番は、基礎疾患を有する方、高齢者施設等に従事する方、保育士や教職員等を優先接種の対象と考えている。③7月中旬頃から重度の基礎疾患を有する方に、接種ができるよう準備を進める。④優先接種以外の方については、優先接種の方の目処が付き次第、年齢層を4つ程度のグループに分けて順次、接種して頂くことを検討している。⑤スマホやパソコン、コールセンターで予約受付を行うが、システム側の制御によって混乱を回避することを考えている。⑥現在、市内約180の医療機関や集団接種会場で接種を行っている。既に土日に接種を行っている会場もあるが、その会場での接種数にも限界があることから、国から発信のありましたワクチン接種休暇等を活用していただけたらと考えている。

5.「岡山県に住民票がない方へのワクチン接種」について

Q1:住民票が県外にある方は、インターネットでの予約ができない状況で、かかりつけ医に直接予約するか、コールセンターで予約するか、コールセンターで新たな番号を聞いて、その後、インターネットで予約するなど、ひと手間が必要。一方、本市の特性として、水島コンビナート企業を中心として、他市・他県から単身赴任されている方も多く、対応が必要である。

A1:住所のある自治体が発行する接種券をご用意いただいたうえで、専用コールセンターでの予約や、かかりつけ医で予約をしていただく必要がある。

6.「優先接種」について

Q1:保育士同様に放課後児童クラブの支援員への優先接種を求める。

A1:放課後児童健全育成事業を実施する児童クラブの支援員も優先接種に含める。

7.「ワクチン廃棄」の取り組みについて

Q1:限りある資源を無駄なく使用して、一人でも多くの市民にいち早くワクチンを接種する事も大きなミッションであるが、本市での「ワクチン廃棄」の取り組みは。

A1:①ワクチン接種において、当日のキャンセル等で余ったワクチンについては、医療従事者で未接種の方や、65歳以上の接種券をお持ちの方へ接種頂くよう、各医療機関へお願いしている。②市の集団接種会場で余ったワクチンについては、パソコンやスマートフォン、コールセンターでワクチン接種を予約された方のうち、1回目の予約が8月以降となっている方に、予約日の遅い順からお声掛けしている。

8.「ワクチンの保管」について

Q1:他の自治体では、ワクチンの運搬中や保管中のヒューマンエラーで、ワクチンを廃棄する事例が、報道されているが、本市では。

A1:ワクチンは、-75℃のデープフリーザーから取り出した後、温度管理テストに合格した保冷ボックスを使用して各医療機関に配送します。配送後はすぐに冷蔵庫(2℃~8℃)にて厳重に保管をしていただくようお願いしている。

9.「同一メーカーによるワクチン接種」について

Q1:ワクチンの供給は、大きく分けて、個別接種はファイザー社、集団接種はモデルナ社との国の方向性が示されている。そのため、1回目の接種と2回目の接種で、同一メーカーのワクチンを間違えなく接種するように、接種履歴を確実に管理することが、求められているが、対策や仕組みづくりは。

A1:①現在、市内の各医療機関における接種は、ファイザー社のワクチンを使用している。②県の設置する大規模集団接種会場や職域接種では、モデルナ社のワクチンが使用されることになる。③本人が、接種済証を忘れてきた場合などは、各医療機関において、その医療機関での接種記録を確認いただくほか、保健所に問い合わせ頂く。

10.「ワクチン接種の相談窓口」について

Q1: ワクチン接種は強制ではなく、あくまでも「個人の判断」が、「最優先」されるべきものであるが、ワクチン接種において、地域の中で接種したと誤って、取り残されている方やワクチン接種の予約方法が、わからない方などが相談できる窓口や体制づくりが必要と考えるが、取り組みは。

A1: 未接種の高齢者の方で、接種を悩まれている方については、県や市のコールセンターで相談に対応させていただきます。

11.「市民病院におけるワクチン接種の関わり方」について

Q1: コロナ感染が続く中、医療機関においては、コロナに対しては、様々な対応や役割が求められていて、市民病院でも、様々な役割を担っていると思うが、ワクチン接種に對しての、市民病院の関わり方は。

A1: ①令和2年に帰国者・接触者外来を設置。②令和2年コロナ患者の受け入れを行うべく、施設改修を実施。③集団接種会場と保健所に合計12名の看護師を派遣。④集団接種会場に医師を延べ12名を派遣。引き続き、保健所や医師会と連携し、市民病院としての役割を果たす。

要望1: 「職域でのワクチン接種」について

職域での接種は、「医療従事者の確保」「会場の確保やレイアウト」「ワクチンの保存」「アナフィラキシーショックの対応」「副反応時の人員配置」など、多くの課題がある。そのため、企業から相談があれば、本市からご支援を頂きたい。

要望2: 「ワクチン休暇」について

企業規模にとらわれず、ワクチン休暇や副反応時の休暇制度の導入が必要と考える。そのため、本市から、各企業に向けて、ワクチン休暇制度の導入、導入が難しい場合には、健康面への配慮についての働きかけを行って頂きたい。

保健所、集団接種会場
市民病院医師ら派遣
倉敷市は15日、新型コロナ対策として、市立市民病院に12名の看護師を派遣し、市民病院で集団接種会場を開設していることなどを明らかにした。大守秀利市長が市民病院のワクチン接種への関わりについて質問。伊原香織市長は「疫学調査や健康観察などを実施するため、2月から看護師3人を市民病院に派遣し、ワクチン接種準備などのため、4月から7人、集団接種が本格化する6月からは2人を追加し、計12人がワクチン接種などの作業に従事している。医師も派遣

▼6月16日山陽新聞記事

から医師や看護師を市民病院に派遣し、市民病院で集団接種会場を開設していることなどを明らかにした。大守秀利市長が市民病院のワクチン接種への関わりについて質問。伊原香織市長は「疫学調査や健康観察などを実施するため、2月から看護師3人を市民病院に派遣し、ワクチン接種準備などのため、4月から7人、集団接種が本格化する6月からは2人を追加し、計12人がワクチン接種などの作業に従事している。医師も派遣



Question 2 「自転車保険」について

背景:自転車事故は、人として「道義的な責任」だけではなく、過失運転者として刑事上の責任、加害者として民事上の責任に問われ、被害の度合いによっては、一生をかけて償っていくことになるケースも発生している。

自治体において、自転車保険の加入促進に関する条例を制定している自治体が増加しており、自転車利用者に対して自転車保険の加入を義務づけているのは22都府県。努力義務としているのは、10都道府県。

Q1: 「市民や事業者への自転車保険の義務化」の考え方は。

A1: 岡山県に対して、早期の条例化を要望していくとともに、市民と事業者の皆様に対しては、自転車損害賠償保険へ加入することの重要性について、引き続き広く啓発を行う。

予算規模

(単位：千円)

区分	補正前の額	補正額	計	前年度同期比(%)
一般会計	192,463,182	410,395	192,873,577	77.6
特別会計	99,122,233	-	99,122,233	101.5
財産区会計	46,917	-	46,917	107.4
企業会計	103,652,986	-	103,652,986	112.9
合計	395,285,318	410,395	395,695,713	90.4

新型コロナワクチン接種券発送・予約受付スケジュール

6月25日時点における、スケジュールです。最新情報は倉敷市保健所保健課ワクチン接種対策班のホームページを参照ください。

対象者	接種券発送 (郵便局持込)	予約受付			
		6月	7月	8月	
①-1 基礎疾患を有する方のうち、心臓・腎臓・肝臓・呼吸器等に重い障がいがあり身体障がい者手帳をお持ちの方	6月24日(木)		接種券到着後から予約可(事前申告は不要)		
①-2 基礎疾患を有する方のうち、知的障がい・精神障がい(精神通院含む)のある方	6月30日(水)		接種券到着後から予約可(事前申告は不要)		
上記以外の64歳から満12歳の方	①-3 基礎疾患を有する方(①-1及び①-2以外の方で喘息、糖尿病、高血圧などの疾患がある方) ② 高齢者施設等の従事者 ③ 保育士・幼稚園教諭・教職員等 7月5日(月) (7月6日(火)～7月9日(金)の間に配達見込み)	接種券到着後 ~7/13	事前申告	7月15日(木)から予約可	
		※定期的に受診している医療機関で予約できる場合は事前申告の必要はありません			
		接種券到着後 ~7/26	事前申告	7月19日(月)から予約可	
		接種券到着後～	事前申告	7月下旬 ※別途お知らせ	
			上記以外の方の予約受付開始は、8月からのワクチンの供給見通しが国から示され次第、お知らせいたします。		

優先接種対象者：①、②、③に該当する方



市民の皆様からのご意見やご相談を受け付けています。
お気軽にお声かけやお電話・ホームページ・facebook・LINEなどにてご連絡いただければ幸いです。

ホームページQRコード▶

